

議 長	副議長	事務局長	書 記
			

政務活動費実績報告書

令和 7 年 5 月 21 日

富谷市議会議長

殿

会 派 名

代表者氏名

議 員 名 長谷川 る美



下記のとおり政務活動費を使用したので富谷市議会政務活動費運用指針の規定により、次のとおり報告します。

記

使 途	☐ 調査研究費	☒ 研修費	☐ 広聴費	☐ 要請・陳情活動
実 施 期 間	令和 7 年 5 月 14 日(水)～令和 年 月 日()			
実 施 場 所	自宅にて音声データで受講			
出席(参加)者名	長谷川 る美			
実施(調査)成果	本研修を通じ 家庭教育支援の現状と課題、 そして地域や行政が連携した包括的な支援の 重要性も再認識しました。 今後、現場の声や最新事例を学び 地域の家庭教育支援のさらなる充実のために活動していける			
行 程	(計画と変更がある場合記載)			

※各欄に記載できない場合、別紙添付により提出も可能。



政務活動費 研修報告書

令和7年5月21日

長谷川 る美

研修概要

本研修は、地方議員研究会が主催し、「現場から見る家庭教育支援」と題して親の学び応援 MIKURU・MIRU 代表の山下真理子先生を講師に迎え、少子高齢化社会において家庭教育支援がいかに重要であるかを、最新の事例を通して学びました。

1 少子高齢社会だからこそ求められる家庭教育支援

- ・少子化が進む中、家庭教育の役割はより重要性を増し、子どもの「生きる力」や自立心を育む基盤になるものとして、家庭の支援が不可欠であることが強調されました。
- ・家庭教育支援は、親子の絆を深め親が自身を持って子育てできる環境づくりを目指しています。

2 こども家庭庁設立における「就学前の子どもの育ち」と「こどもまんなか社会」

- ・2023年に発足した「こども家庭庁」は就学前の育ちや家庭への支援を、国の司令塔として推進しています。
- ・「こどもまんなか社会」の実現を掲げ幼児期からの健やかな成長を支える環境整備や、家庭と地域、さらに行政が一体となった支援体制の構築が進められています。

3 家庭教育支援チームやチーム学校で家庭教育を支える

- ・家庭教育支援チームは、地域で子育てや家庭教育に関する相談、学習機会の提供、さらに情報発信を行い、保護者が安心して子育て出来るように支援を行っています。
- ・学校や行政、福祉機関との連携により、切れ目ない支援体制を整えることを目指しています。

4 家庭教育支援による不登校や引きこもり予防

- ・近年増加する不登校や引きこもりに対し、家庭教育支援は予防的役割を果たしています。
- ・家族療法や親子関係の改善を通じて、子どもの自立心や社会性を育み、不登校の未然防止や解決に寄与しています。

まとめ

本研修を通して、家庭教育支援の現状と課題、さらに、地域と行政が連携した包括的な支援の重要性を再認識しました。中でも、「引きこもり支援の中に未然予防と言う視点があるか」というポイントは、これからの大きな課題であると思いました。